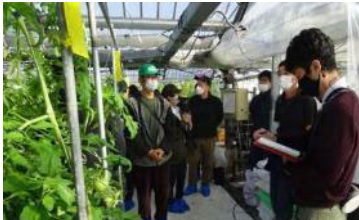
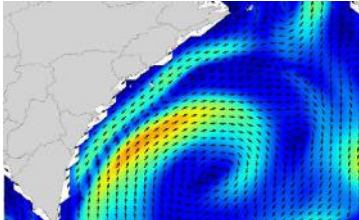


事業概要：（仮称）藍住町世代間交流施設を中核とした持続可能なまちづくり推進事業

継続

申請者	徳島県藍住町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,990,000千円 (758,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	老人福祉センター「藍翠苑」及び勤労女性センターを複合化するとともに、新たな施設機能を付加した（仮称）藍住町世代間交流施設を整備する。この拠点を中核として地域コミュニティの再生と活性化を図り、町や地域に関わる住民が主体的にまちづくりに参画し、全世代が活躍できる魅力的なまちづくりを実現する。これにより、町外流出の抑制や移住者の増加を図り、人口減少の抑制に寄与することを目的とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・オープンスペースやキッズスペースを設置し、多くの人が集う心地よい（自分の時間が楽しめる）空間を創出する。 ・オープンな多目的交流室などでコミュニティ活動できる環境を整え、施設に訪れた人の興味・関心を促す。 ・活動したい人をサポートできる体制を整え、自ら行動を始める人や団体を後押しする。					 < 整備イメージ > 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 （仮称）藍住町世代間交流施設整備に係る設計・施工・監理 ・設計業務（仮称）藍住町世代間交流施設整備に係る設計 50,250千円 ・建築物本体工事（仮称）藍住町世代間交流施設整備工事 356,200千円 ・建築物と不可分な設備工事（仮称）藍住町世代間交流施設整備に係る設備工事 343,630千円 ・建築物施工監理業務（仮称）藍住町世代間交流施設整備に係る施工監理 7,920千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口の増減数（▲288人） ②年間来館者数（+42,000人） ③（仮称）藍住町世代間交流施設で定期的に活動する地域コミュニティの数（+58団体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.aizumi.lg.jp/docs/2026090300019/

申請者	徳島県藍住町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	262,682千円 (60,303千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	平成元年度のオープン以来、大規模なリニューアルが行われていない藍住町歴史館「藍の館」のコンテンツである徳島県指定有形文化財「奥村家住宅」を改修して、新たな価値を付与し、積極的に活用を拡大することで、文化観光コンテンツを磨き上げ、地域経済の活性化を図り、文化の創造を通じた地方創生を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 日本遺産「藍のふるさと阿波」の中核施設である、「奥村家住宅」を改修・機能強化することで、歴史的空間に新たな価値を吹き込み、MICE及びユニークベニュー等の需要を創出し、新たな収入源として確立する。また、体験メニューの刷新、周遊ルートの確立を行い、来場者数の増加、満足度向上を図り、町内での滞在時間延長や観光消費額向上に繋げる。					 < 奥村家住宅 >  < 活用イメージ >	
	【R8年度事業 経費内訳】						
	・耐震補強等工事（主屋） 38,072千円 ・工事監理業務（主屋） 2,376千円 ・工事設計業務（離座敷） 19,855千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本町の文化観光振興を通じた観光消費額（+20,362,000円） ②年間来館者数（+10,000人） ③来館者の満足度（+5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.aizumi.lg.jp/docs/2026090300019/

申請者	徳島県ほか 5 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	480,350千円 (211,450千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	経営規模拡大などに資する生産基盤の整備を行うとともに、スマート技術の実践的な研修等を展開し、スマート農林水産業を担う多様な人材の育成・確保を図る。 生産現場に適合するスマート技術の開発・導入・利用拡大を推進するとともに、産学官連携による生産から販売に至るまでの一貫したイノベーション創出により、徳島県の農畜水産物産出額のV字回復を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スマート農林水産業を担う人材育成・確保、スマート農林水産業による成長産業化などに取り組み、持続可能な成長産業として、次世代へ継承される本県農林水産業を実現する。また、スマート農林水産業を切り口として、多様な人材の新規就業が促進されるとともに、県内各地の生産現場に適応するスマート技術の導入が拡大されることにより、本県の高品質な農畜水産物の持続的な産出と安定供給が実現し、関連する食品加工や観光などの地域産業の活性化も図られる。					 スマート農業研修（施設園芸）	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・スマート農林水産業を担う人材育成・確保事業（委託料等）72,342千円 ・スマート農林水産業による成長産業化事業（委託料等）74,108千円 【インフラ整備事業】 ・農地の排水改良、排水機場の改修 65,000千円					 ドローン導入実証（レンコン産地）	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農畜水産物産出額（+45億円） ②農林水産業新規就業者数（+810人） ③スマート技術活用経営体数（+450経営体） ④産学官連携プロジェクトによるイノベーション創出数（+6件） ⑤高収益作物の作付面積増加率（+10%）					 海況予測システム（潮流予測）	
						 農地の排水対策（暗渠排水）	
						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.tokushima.lg.jp/ip-pannokata/kurashi/chihososei/7313763/

※徳島県、徳島市、阿波市、北島町、藍住町、板野町の広域連携事業

事業概要：徳島東部インバウンド観光地域づくり推進プロジェクト事業

新規

申請者	徳島市ほか14自治体※					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	53,440千円 （18,140千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	1 5市町村から成る徳島東部圏域において、インバウンド誘客を推進するにあたって、3つの課題（①2次交通対策、②受入環境の遅れ、③認知度不足）に対応する取組を3年間で集中的に行い、外国人が好んで滞在する地域としての地位を確立する。 地域の多様な主体の参画を促し、地域が活性化することで、住民の誇りの醸成や住むことに対する満足度を高めるとともに、住みやすいまち「徳島」としての認知度の向上に努めることで、関係人口、交流人口、定住人口に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、徳島東部圏域15市町村を対象に、観光モビリティを新たな軸として導入し、外国人観光客を中心に地域全体の周遊・滞在促進を図る総合的な観光地域づくり事業である。また、「移動」と「体験」を一体化した観光モデルの構築を通じて、観光の質と量の双方を高め、観光客の満足度の向上と延べ宿泊者数の拡大による観光消費額の拡大を図り、地域活性化を実現する持続的な地域経済の発展に寄与することを目的とする。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 (1) 徳島東部版サイクル&データ・モビリティネットワークの構築 ・広域シェアサイクル実証費（広告宣伝費、委託費） 5,840千円 ・サイクル&データ・モビリティネットワークの構築に係る事務費（会議費、通信運搬費等） 300千円 (2) 官・民一体によるインバウンド受入環境の整備の促進 ・多言語デジタルガイドシステム整備等（広告宣伝費、委託費） 1,700千円 ・多言語デジタルパンフレット等制作費（広告宣伝費、委託費） 1,000千円 ・インバウンド受入環境整備助成費（補助金） 1,000千円 ・インバウンド受入環境整備の拡大に係る事務費（会議費、通信運搬費等） 300千円 (3) インバウンドプロモーションの集中的な展開 ・SNSによるインバウンドプロモーション及び海外プロモーション費（旅費交通費、委託費等） 4,700千円 ・インバウンドプロモーションの展開に係る事務費（会議費、通信運搬費等） 300千円 (4) 地域の多様な主体の参画の促進 ・徳島東部圏域観光ニーズ・実態調査費（委託費） 1,100千円 ・世界に通ずる観光人材育成費補助（補助金） 1,000千円 ・地元事業者・住民参加型の観光まちづくり推進費（講師謝金、広告宣伝費等） 800千円 ・地域の多様な主体の参画促進に係る事務費（会議費、通信運搬費等） 100千円						
主なKPI	①徳島東部圏域の訪日外国人来訪者の一人当たり観光消費額（+5千円） ②徳島東部圏域の訪日外国人来訪者の延べ宿泊者数（+6万人） ③徳島東部圏域の訪日外国人来訪者満足度（大変満足）（+4.0%） ④徳島東部圏域の住民の観光振興への取組み意向（参加したい）（+9.0%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tokushima.tokushima.jp/shisei/machi_keikaku/sougo-plan/sougoukeikaku2025.html

※徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町の広域連携事業